

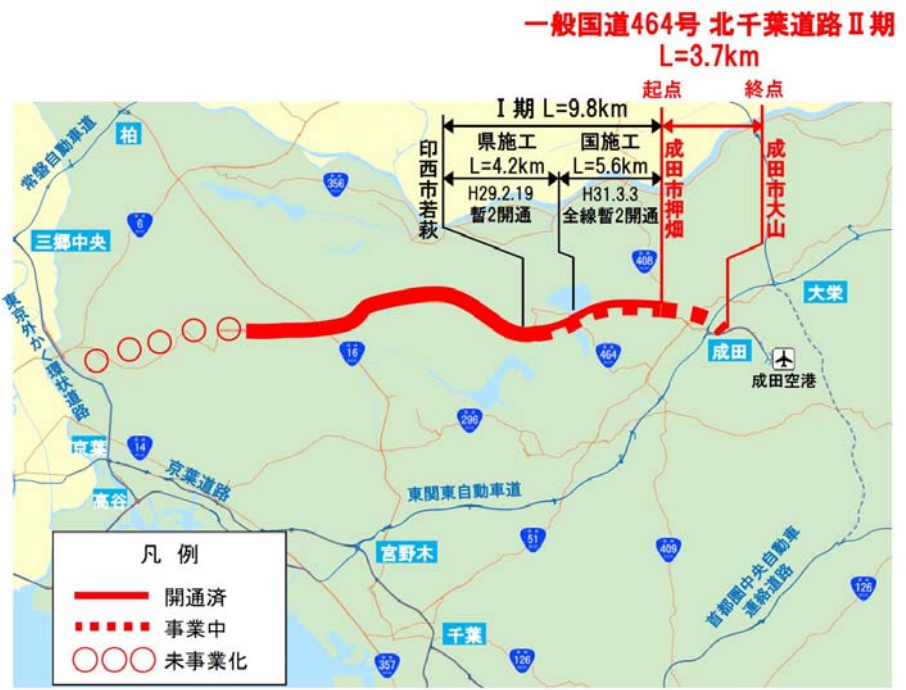
再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

事業名	空港・港湾等アクセス 一般国道464号 <small>きたちば</small> 北千葉道路	事業区分	一般国道	事業主体	千葉県
起終点	自：千葉県成田市押畑 <small>なりたしおしほた</small> 至：千葉県成田市大山 <small>なりたしおおやま</small>			延長	3.7 km
事業概要	一般国道464号北千葉道路Ⅱ期は、Ⅰ期区間と一体となって千葉ニュータウン地区と成田国際空港を結ぶ重要な道路である。北千葉道路Ⅱ期と並行する国道408号は、交通集中による渋滞や交通事故が多発していることから、交通の円滑化、安全性の確保、物流の効率化等を目的として、バイパスの整備を行う。				
H19年度事業化	H19都市計画決定	H21年度用地着手	H29年度工事着手		
全体事業費	421億円	事業進捗率	約26%	供用済延長	— km
計画交通量	26,300～31,500台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年 令和2年	
	(事業全体) 1.8	(残事業)/(事業全体) 241/360億円 (事業費：238/357億円 維持管理費：3.1/3.1億円)	(残事業)/(事業全体) 639/639億円 (走行時間短縮便益：582/582億円 走行経費減少便益：48/48億円 交通事故減少便益：10/10億円)		
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量		B/C=1.7～1.8(交通量 ±10%)		(残事業) 交通量	
事業費		B/C=1.6～2.0(事業費 ±10%)		事業費	
事業期間		B/C=1.6～1.9(事業期間±20%)		事業期間	
事業期間		B/C=2.5～2.7(交通量 ±10%)		事業費	
事業費		B/C=2.4～2.9(事業費 ±10%)		事業期間	
事業期間		B/C=2.4～2.9(事業期間±20%)		事業費	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 通過交通と内々交通の適切な機能分担による、成田市市街地の交通の円滑化や、交通混雑緩和による安全性の向上が期待される ・ 移動時間の短縮や定時性の確保によって、県西部などと成田国際空港を結ぶ物流の効率化が期待される ・ 成田空港と広域防災拠点間の所要時間の短縮による防災機能の向上が期待される 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係7市の首長等からなる北千葉道路建設促進期成同盟や、商工会議所などの経済団体からなる北千葉道路（印西市～成田市間）建設促進協議会より整備推進の要望を受けており、国土交通省、財務省等への要望活動も行っている 					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 北千葉道路Ⅰ期区間（印西市～成田市）が暫定2車線で開通（～H31.3） ・ 成田空港は令和10年度末を目標に空港機能強化を進めている 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約99%、事業進捗率約26%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
引き続き、早期開通に向けて事業を進める					
施設の構造や工法の変更等					
他工事との工程調整による建設発生土の有効活用や、新技術・新工法の活用により、着実なコスト縮減に努める					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。